

武工新聞
第35号



Technical
News
Paper

発行日
7月15日
発行者
武工新聞部

Enjoy!! 修学旅行 in 北海道

平成22年6月29日~7月2日

今年度の修学旅行の行き先は北の国、北海道。日程は次のとおり。

【一日目】
函館空港↓トラピスチヌ修道院↓五稜郭↓湯の浜ホテル↓赤レンガ倉庫街↓湯の浜ホテル

【二日目】
湯の浜ホテル↓長万部↓ラフティング↓ひらふペンション村

【三日目】
ひらふペンション村↓小樽↓札幌

【四日目】
札幌↓大倉山シャンツェ↓新千歳空港。

一日目

一日目はトラピスチヌ修道院、五稜郭タワー、函館の夜景の順に見学に行った。最初の見学地のトラピスチヌ修道院では、天使ミカエルと聖母マリアの銅像や色々な石像などを見ること出来た。

五稜郭タワーでは、五稜郭を見学したあとに五稜郭タワーに上った。上からの景色は街が一望でき、空気がきれいだからか遠くまで眺めることができた。五稜郭はきれいな星の形をしていてどういう風に作ったのかとても気になった。当時の建築技術の高さが伺えた。その日の夜に函館の夜景を見に行く予定だったが、悪天候のため赤レンガ倉庫に行くことになった。赤レンガ倉庫ではイルミネーションが施された夜の街並みを見ることが出来た。イルミネーションの光が明るく、とても倉庫とは思えなかった。(加藤)



→五稜郭タワーからの景色をバックに



→ガイドの説明を聞く生徒たち



↑赤レンガ倉庫での夜の街並み



↑ラフティングに向かうバスの中
←ラフティングを楽しむ生徒たち



二日目は、早朝には、朝市見学に向かった。朝食も朝市近くの店で取り、眠い目を擦りながら海鮮丼を食べた。上に盛られた魚介類がとてもおいしかった。食べ終わった後には朝市で買い物を行い、多くの生徒がお土産に蟹などを買っていた。

その後、ラフティングに向かい、事前指導を受けた。ドライスーツを着ることに四苦八苦したもの、実



←朝市場で海鮮丼を待つ生徒たち

実際に川に入るとオールで水をかけあつたりして楽しんだ。ボートから突き落とされたりする場面もあり、水の冷たさが気持ちよかった。ペンションでは、豪華な食事に舌鼓を打った。オーナーのアットホームな雰囲気は、心温まった。友人との会話を楽しみ、就寝時間はあつという間に過ぎてしまった。(細井)



↑朝市近くの店でお土産探し



→ドライスーツを着た生徒たち

二日目

三日目は待ちに待った班別行動。それぞれの班が事前に準備した計画表をもとに、札幌・小樽を巡った。私たちの班は「スイーツめぐり」。小樽では北海道でしか食べられないアイスクリーム、シュークリームなどを食べた。どれもすごくおいしかった。

最後に、バスでJRタワーからの夜景を見に行った。夜景は札幌市内を一望でき、その美しさは感動的なもので、心に残るものとなった。最終日に泊まったホテルも豪華で、みんなにとって充実した一日となった。(住吉)

札幌市内のデパートなどにいき、福井では買えない靴や服など買い、ショッピングを満喫した。

夕方には札幌テレビ塔に集まり、アサヒビール園で北海道名物のジンギスカンを食べた。初めての味でもおいしかった。

↑ジンギスカンを囲んで乾杯!



→北海道のスタンプ「まりもっこり」と一緒



→女子も負けじと食べました



時計台を見てきました!

↑風情ある小樽の街並み

↑JRタワーからの夜景をバックにイエーイ!

四日目は、大倉山シャンツェから新千歳空港を巡る日程。大倉山の頂上にある展望台からは、札幌市内が一望できる。当日は晴れていたのが遠くの景色までがとて綺麗に見える、札幌ドームやテレビ塔などが望める絶景だった。

その後、最終日の昼食である「鍋ラーメン」を食べ、新千歳空港へ向かった。

四日間ガイドをしてくれたバスガイドさんに別れを告げ、中部国際空港行きの飛行機に乗り込んだ。着陸してからはバスに乗り、約二時間かけて武生工業高校へ帰ってきた。

様々な体験ができた4日間の修学旅行は、長いよう



←大倉山シャンツェで楽しむ生徒たち

四日目

で短い旅行だった。皆良い思い出ができたと思う。皆さんお疲れ様でした。(辻岡)

← やってしま
いました

→最終日の昼食、煮込みラーメン



↑空港内でリラックス

余裕だよ〜!



編集後記

今週は自主的に部活動に参加し、この修学旅行版の新聞を仕上げた。

二組は電気工事士の実技試験に向けて補習があり、三組はなぜか来ないため一組の新聞部員だけでこの新聞をつくり、四日になんとか仕上げた。

最初のレイアウトでは責任者が納得いかないというので、もう一度やり直してこのようなレイアウトとなった。編集後記担当にならぬ私にも、すばらしいレイアウトで納得のいく新聞になったと思ってる。

さて、六月二十九日(火)〜七月二日(金)にかけての修学旅行は、みんなにとっても心に残る思い出ばかりで一生忘れられないものとなったのではないかとと思う。人生最後の修学旅行はどうだっただろうか。これからの学校生活をエンジョイしつつ、この修学旅行を無駄にせず、日々充実した生活を送っていききたいと思う。(住吉)



ラフティングは一時半ぐらいあり、尻別川の上流あたりから中流あたりまで下った。

他のボートに水をかけたり、ボートを揺らして転覆させたり、ボートを垂直にしたり、自分から川に飛び込んだり、強い流れでボートを回転させたり……。

どれも学校ではできないことばかり。少し霧が濃くて山が見えなかったのが残念だったが、身体全体で自然と触れ合った貴重な体験となった。(末永)